

11月14日は世界糖尿病デーです

世界では糖尿病に関連する病気によって6秒間に1人の命が奪われています。世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するため、国連に認定されており、この日を中心に世界中で様々な糖尿病啓発キャンペーンが行われています。

11月14日はインスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療における画期的な発見に敬意を表し、この日を世界糖尿病デーとしています。



world diabetes day

14 November

2021年はインスリン発見から100周年

糖尿病と思われる病気は古代エジプトの医学書にも記され、日本人では藤原道長が糖尿病であったと推察されています。

それから長い年月が経過し、1921年、トロント大学（カナダ）の生理学研究室でインスリンが発見されました。このインスリンの発見は20世紀最大の発見の一つと言われ、ノーベル賞（医学生理学賞）が授与されました。その後、糖尿病治療は飛躍的に進化しました。



インスリンで治療中は低血糖に注意

○低血糖とは？

血糖値が正常な範囲より低くなった時のことを言います（概ね70 mg/dL未満）。放置しておくと昏睡状態や意識消失に繋がるため、早めの対応が必要です。

○低血糖の主な症状



強い空腹感



冷や汗・動悸



めまい



手指のふるえ

○低血糖の対処方法

ブドウ糖（10g）かブドウ糖の入ったジュース（150～200cc）、もしくは、砂糖（20g）を飲んで下さい。ただし、 α -グルコシダーゼ阻害薬※を服用中の場合はブドウ糖でないと効果が出ません。ゼロカロリー、ノンカロリーの様なダイエット商品はダメです。

低血糖はいつどこで起きるかわからないため、日頃からブドウ糖や砂糖を携帯しておきましょう。



※ α -グルコシダーゼ阻害薬に分類、含有する薬
グルコバイ®、アカルボース、セイブル®、ミグリトール、バイスン®、ボグリボース、グルバズ®

